

# 利賀っ子だより



R3. 11. 17

## ○ 周りを見て気付く そして動く

### ～ 中学生がいないアークス ～

今週は、中学生は修学旅行、宿泊学習に出かけ、小学生だけで過ごす日が2日ありました。

掃除の時間のことでした。プレイルーム掃除のJさんは、自分の掃除場所のすぐ隣のランチルーム清掃の中学生がいないことに気が付きました。「あ、そうか・・・。」としばらく考え、自分の担当の場所を手早く掃除し、中学生が担当しているランチルームのモップ掛けもしていました。中学生がいなかったこの日も小学生はランチルームで給食を食べたので、掃除が必要だと考えたようです。

「こんな広い所、(中学生が)一人でやとったんや。」とつぶやいていました。自分がやってみてはじめて、中学生の力を借りて生活していることにも気が付いたようでした。



一人でランチルームを掃除するJさん

### ～ 白爵カボチャの料理教室 ～



洗い物をする2人

利賀の特産品である白爵カボチャ。子供たちも学校の畑で栽培してきました。地元の富山県栄養士会食育リーダーの平田ふさ子先生を講師にお迎えして、料理教室を開きました。

どの子も調理に携わりたいと順番に作業をする中、次から次へと洗い物をする中学年の2人がいました。聞くと、「(順番を)待っている間の時間がもったいない。」「この方が早く(調理が終わって)食べることができる。」とのことでした。その場で自分ができることを考え、進んで作業をする2人に感心しました。

一つ一つの子供たちの行動には、そうするに至った考えがあることを2つの出来事から感じました。その過程を価値付けることが今年度の重点目標「自分で考え、判断し、行動する子供の育成」につながります。丁寧に子供たちの言動を見取ったり、聴き取ったりしていかななくてはと気が引き締まる思いがしました。

(高田 公美)